

全体(基本課題1～10)

全体評価	審議会の意見
A評価・・・69事業 B評価・・・26事業 C評価・・・11事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ男女共同参画の認知度が低いので、認知度を上げる取組を強化する必要がある。</li> <li>・今後は担当課の評価、地域振興課の評価、審議会の評価をしていき、推進を図ってはどうか。</li> <li>・担当課だけではなく地域振興課も事業にかかわり、家族、事業所、農家、地域、PTA活動など広範囲にモデルを形成する必要がある。</li> </ul>

基本課題1 男女共同参画を推進する教育・学習の充実(課題1～3)

課題1 学校等における男女平等の精神をはぐくむ教育の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
1	保育所、幼稚園等の指導計画及び研修計画の点検、実施	保育所、幼稚園の指導計画策定	社会福祉課 学校教育課	各保育所、幼稚園において、毎年度始めに指導計画等を定める際に、男女平等の視点を視野に入れ、策定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男児、女児ではなく、個人を大切にする保育がなされるよう各保育士が配慮して指導計画を作成した。(例:ままごと等の役割分担等)</li> <li>・南幼稚園訪問の際に公開授業等を通して、男女平等の視点を意識すること等を指導した。</li> </ul>	A		
2	保育所、幼稚園等の教材・保護者へのたよりなどについて男女共同参画の視点からの点検	保育所、幼稚園だより等の点検	社会福祉課 学校教育課	保育所、幼稚園で購入する教材や毎月発行する各保育所のおたよりの中で、男女の性差を意識させるものがないかどうか点検を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の誕生日の児童を紹介するときに性別を問わず「〇〇さん」と表記した。</li> <li>・教材の色を選択する際に、色の固定観念にとらわれることなく児童の意思を尊重したり、名簿を男女別ではなく生年月日順にしている。</li> <li>・幼稚園で男女平等の視点から、発行するたよりの点検を行ったが特に改善点はなかった。</li> </ul>	A		

3	保育士及び幼稚園教諭の意識の啓発	保育士及び幼稚園教諭の意識の啓発	社会福祉課	各保育所の職員会議において、男女の性差別的な事例がなかったかどうか話し合う機会を設ける。	遊びや子どもへの接し方について、男女差別的な事例がなかったか毎月開催の各保育所の職員会議で話し合い、職員一人一人が日々の保育の中で意識が持てるようにした。	A		評価Aとしたことが分かるような取組の記述と次年度からより具体的な実施計画にすべきである。
			学校教育課	幼稚園教諭研修を通して男女平等の意識を高める。	幼保小連携教育研究会を実施し、男女平等の意識を高めた。	A		
4	小中学校の指導計画について男女共同参画の視点からの見直し	男女平等教育の実践活動への支援	学校教育課	学校訪問を通して助言を行い、実践例を紹介する。	学校訪問を通して、道徳や保健体育等の学習と関連させながら、男女平等の視点から指導した。	A		
5	男女平等感に立った教育的配慮	男女混合名簿の導入	学校教育課	栄中学校、下田中学校での男女混合名簿の導入に向けて指導する。	2か校に男女混合名簿に取り組むよう指導する時期が遅くなり、完全実施ができなかった。	C	来年度完全実施が可能なように、学校に指導をしていく。	評価Aとしたことが分かるような取組の記述と次年度からより具体的な実施計画にすべきである。
		男女平等の視点に立った進路指導の推進		男女の別なく進路指導がされるよう、学校訪問を通して助言を行う。	男女の別なく進路指導がされるよう、学校訪問を通して助言を行った。	A		
6	小中学校教職員、事務員等の研修の充実	研修会への派遣	学校教育課	県等で実施の研修会等に積極的に派遣するよう学校訪問を通して働きかける。	市内各校から、県の実施した教育研修会に参加することができた。	A		

## 課題2 男女共同参画意識を高める様々な学習機会の提供

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
7	男女共同参画意識の普及	女性セミナーの実施	生涯学習課 (公民館)	対象:栄地区の女性 時期:8月 内容:男女共同参画意識を高める講義をセミナーに組入れる。 20名	8/29女性セミナーの第5講で男女共同参画意識を高める講義を組み入れた。 8名参加 (内容) ・男女共同参画社会に向けた当市の現状と取組について講義、説明 ・男女共同参画に関する寸劇(家庭編・地域編)	C	女性セミナー自体の受講生が少なく、第5講当日の欠席者もあり、参加者が少なかった。次年度も男女共同参画の内容を取り入れた回を設ける。方法としては、より多くの方から参加してもらうために、その回のみを他の講座と合同開催にしたり、男性への呼びかけを行うなどの検討が必要である。	
8	学習参加者の市民活動への参画の支援	市民活動団体に関する情報の提供	地域振興課	セミナー等の受講者が市民活動につなげていけるよう情報の提供等の支援をする。	9月に開催した「女性のパワーアップ講座」の受講者が市民活動につなげていけるよう情報を提供した。	A	今後、受講者がどのように市民活動につなげていったかを追跡調査する必要がある。	

## 課題3 メディアにおける男女共同参画の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
9	メディアを読み解き発信する能力の育成	「メディアの中の男女共同参画(仮称)」講座の実施	地域振興課	対象:市民 時期:10月～11月 内容:県女性財団、市民、報道機関関係者と共に企画する、メディアを読み解き発信する能力の育成のためセミナーを開催する。 30名	「やってみよう!メディア・ウォッチング」 ～見て 気づいて それから・・・～ 対象:県民 時期:10月5, 12, 26日 内容:県女性財団、市民、報道機関関係者と共に企画する、メディアを読み解き発信する能力の育成のためセミナーを開催した。 受講者22名	B	・参加者数が目標に達しなかった。 ・来年度は発信側にもなっている勤労者を対象に、夜または休日の開催を検討する。	
10	市の作成する広報誌・出版物等における性差別につながらない表現の推進	男女共同参画の視点からの広報の手引き書の作成	地域振興課	男女共同参画の視点からの広報出版物等に関するガイドラインを作成する。	男女共同参画の視点からのガイドライン案はほぼ作成したが、ユニバーサルな視点の広報ガイドラインを作成するため、担当部署(広報広聴室)が他課等との調整が遅れ、3月まで作成できなかった。	C	来年度早々に完成させたい。	